



社会福祉法人 聖音会

第11号

明日へ

平成26年3月25日発行

児童養護施設 鎌倉児童ホーム

(発行責任者 施設長 秦晴彦)

〒248-0017

神奈川県鎌倉市佐助1-6-6

電話 0467-22-0424

春光さわやかな季節となりました、皆様はいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

日頃から、当ホームの施設運営にご理解、ご協力をいただいている関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。

広報誌「明日へ」10号でお知らせいたしました。平成25年度から発行を年2回にする目標を立てました。11号が年度内に発行できたことは、設定した目標に向けてひとつづつ着実に歩む当ホームの姿勢の表れとして、感じ取っていただければ幸いです。

さて、喫緊の課題として、施設運営にあたり、職員の配置不足を感じております。より丁寧に子どもたちを養育するには、養育者である職員の人数がどうしても必要であると痛感しているところです。

国から職員配置基準（子ども5.5人に対し職員1名）の変更（子ども4人に対し職員1名）がなされるとの見通しが示されております。「消費税の増税財源がその配置の原資として充てられる」と聞いたことがあります。その実現はぜひ行っていただきたいとともに、各自治体間の取り組みにも差が表れはじめています。未来を託す子どもたちのために、少しでも多くの配慮がなされることを切に望んでおります。

社会的養護で育つ子どもたちに、暖かい光を照らし続けていただければ幸いです。



第85回園の友会 記念撮影

鎌倉児童ホーム 施設長 秦 晴彦

ボランティアさん大募集！

鎌倉児童ホームでは、ボランティアさんを大募集しております。

「日常生活全般」「家事全般」「1対1での個別学習」「子どもたちとの夕方の外遊び」など様々な形でのご協力が必要です。

これらの形式以外にも子どもたちが必要としていることは、たくさんあります。

よろしく願いいたします。

お問い合わせ

鎌倉児童ホーム（電話：0467-22-0424 E-mail：kamakura@seionkai.or.jp）担当：山神まで

『行ってらっしゃい』って

背中を押して下さい…」

3月2日に鎌倉児童ホームの卒園式が開かれました。

今年は3月に高校を卒業した4名が鎌倉児童ホームから旅立ちます。

当日は、これまでお世話になって来た、「ボランティアの方々」

「教会学校の方々」「学校の先生方」「児童相談所の方々」などにお集まりいただき、数名の方からはメッセージもいただきました。

卒園生と生活をともにしてきた同じ家の子どもたちからは「ビデオレター」や「歌とダンス」による、エールが送られました。

最後には、卒園生自身からの挨拶もありました。日頃は、ふざけてばかりで、恥ずかしがり屋の子どもたちが、思い出やお礼の言葉を一生懸命に述べる姿には、毎年、感動させられます。

今年はK君より、「4人とも恥ずかしがり屋だから、マイクを持って大した話なんて出来ないと思う。けど、心の中では感謝の気持ちでいっぱいだから、それをみんなにサプライズの形で伝えたい」との要望がありました。いろいろと検討した結果、K君が4人の言葉を一つの文章にまとめ、スライドショー形式で披露することになりました。抜粋したものを掲載させていただきます。



4名の卒園生

私たちはみなさんのおかげでここまで成長することができました。

担当の皆さんの「たくさんの愛に溢れた笑顔」「私たちを思うやさしさゆえの厳しさ」

「私たちの求めるものに出来る限りの誠意を尽くしてくれた一生懸命な姿」

「何事もあきらめずに最後まで戦う姿勢」「私たちのために何度も頭を下げてもらった感謝」

「たくさんの不満をぶつけてしまっても耳をふさぐことなく、最後まで話を聞いてくれたこと」

「どんなときも笑って迎え入れてくれるあたたかさ」

これらが日常的に繰り返されている中で、いつのまにか感謝の気持ちを忘れてしまっていたのかもしれない。

「おはよう」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」

こんな当たり前のことが当たり前のこととして繰り返されてこれたことが、「幸せであった」と改めて感じています。

辛さに負けてしまう時もそのうちに出てくるかもしれません。

そんな時は「鎌木に帰ってきてもいいですか？」

「笑って話をしながら昔の時間を思い出すことで元気をもらってもいいですか？」

みなさんと一緒に過ごした「鎌木」と言う故郷が、私たちの大きな力になり、

「また、頑張ろう」と励ましてくれるはずです。

いつか、鎌木に帰ってきた時には「ただいま」って言うので、「おかえり」って笑顔で迎えて下さい。

卒園は別れだけではなく、私たちのスタートでもあります。

最後はバイバイではなくて、「行ってらっしゃい」って背中を押して下さい。

「鎌倉児童ホームからの卒園」とはいいながらも、4名と鎌倉児童ホームとの関係は変わりません。

「嬉しいことの報告」や「困ったことの相談」のために4名は鎌倉児童ホームに帰ってきてくれるはずです。今回の卒園式を通じ、自分たちには「仲間」がいることを再確認できたと思います。

4名は、いいスタートラインに立てました。(豊本)

施設内での様々なつぶやき……本年度卒園生に今の気持ちをつぶやいて頂きました！



kamahotter

ホーム プロフィール 友だちを検索 設定ヘルプ

いまなにしてる？

140

投稿する



@legend

シオンは男の部屋。

俺になりたければシオンの男たちと生活してみん！

2hours ago



@takuya

私は鎌倉でいろいろなことができました。

印象に残っていることは自由活動とハローに行ったことです。なかなか行かないから楽しかった。

これからは自分の力で生活していくので頑張っていきたいと思います。

お世話になりました。

3hours ago



@nappe

私は 2 歳のころからいたので、色々迷惑かけちゃったかもしれませんが、ここの生活は結構楽しかったです。

ありがとうございました。

3hours ago



@kazuki.T

施設の職員や子ども達の協力のおかげで、約 6 年間の施設生活を終え、卒園を迎えることが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。在園している皆は自分の夢を見つけ目標に向かって精一杯生きて欲しいです。私は進学し自分の夢をかなえるために努力していきます。みんなの活躍を心から応援しています。

4hours ago

読み込み中……

フリー マーケット の お知らせ

鎌倉児童ホームでは、年に2回フリーマーケットを実施しています！洋服から電化製品まで様々な商品をお手頃の値段で売り出しています！ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？

<日時・場所>

5月6日(火)

10:00~15:00

鎌倉児童ホーム
事務所前

クリスマス会

平成 25 年 12 月 13 日 (土) にクリスマス会が行われました。今年のスローガンは「これが鎌木のおもてなし」。1 部は礼拝、2 部は劇とスライドショー、3 部は食堂に場所を移し、お客様と楽しくお話ししながら食事をしました。ステージでは幼児さんのかわいいダンスの出し物、器楽、中高生男子による楽しい出し物が披露されましたが、子ども達は皆いきいきとした表情でした。日ごろお世話になっている小中学校の先生方、ボランティアさん、教会学校の先生方、児童相談所の方々、支援をしてくださっている団体の方々もいらして下さり、改めての沢山の方に鎌木の生活を支えていただいていることを実感しました。そんな感謝の気持ちを込めて‘おもてなし’をさせていただきました。皆さんのお力で子ども達が成長しています。これからもよろしく願いいたします。

(宮崎)



『一部の礼拝』



『二部の劇』



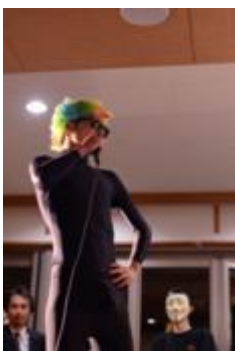
『器楽』



『小さな子ども達のダンス』

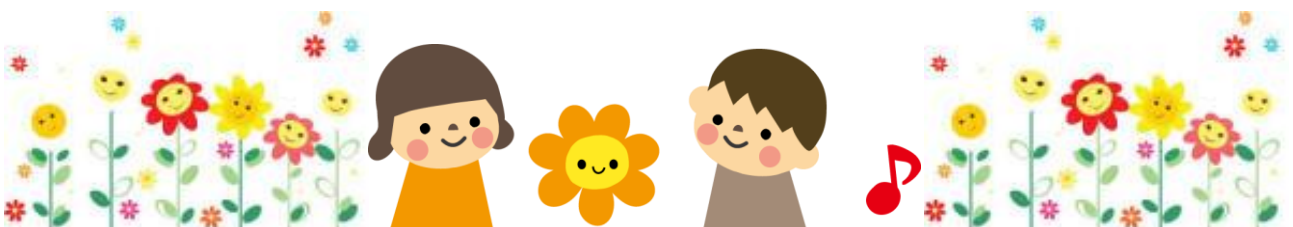


『調理員の手作り料理』



← 『ちょっと変わった？
楽しいステージもありました』

年末年始には、沢山のケーキやお菓子などの寄付をいただきました。ありがとうございました！！



習い事、がんばってます！！

ボランティアの皆様のご協力による習い事を通じ、子どもたちはいろいろな経験をさせていただいております。自主的に‘やりたい’と希望をした子どもたちが参加しています。

日ごろの成果を発表をする機会も増えてきており、子どもたちの自己評価の向上につながっています。

ボランティアで指導をしてくださる皆様には、心より感謝しております。(宮崎)

習字

ピアノ

ダンス

レスリング

お菓子

速読

ENGLISH

フラダンス

茶道

『お菓子教室』



タルトにイチゴを並べています♪ (真剣)

『フラダンス』



夏祭りのステージでダンスを発表！

『習字』



日本総合書芸院展に出展しました！

『レスリング』



心も強くなるよう練習してます！



大会で悔し涙…

鎌ホの職員紹介

職員を紹介させていただくこのコーナー。

皆さんに我々職員のことを知っていただき、より身近に感じてもらえたら嬉しいです。

今回は、皆さまからの熱いクエストにお応えて、『ラーメン二郎』をこよなく愛する池田渉をよりディープに、そして、平成 25 年度より、新しく仲間入りした秦野恵未からそれぞれ自己紹介をしてもらいます。

似顔絵は前号に続き、林が担当いたしました。(佐々木)

『ラーメン二郎と私』



職場にて子ども達とラーメンを一緒に作ったり、外食で食べに行ったりしている。

自分が好きな物を子ども達と共有できるというのは、私にとってこの上ない幸せを感じる時間である。そんな自分が好きなラーメンというのが、「ラーメン二郎」と言って知人ぞ知る都内近郊ですごい勢いでピーターを作り出して、店舗数を増やしているラーメン屋である。ラーメン二郎との出会いはかれこれ 15 年も前になる。右も左も分からない「うぶな大学 1 年生」の春であった。

先輩に連れて行かれたラーメン屋で食べたラーメンは、今までの常識がまったく通じないものであった。カルチャーショックとでも言おうか。よく巷で言われている言葉がある、「ラーメン二郎はラーメンではない。ラーメン二郎という食べ物だ」と。知らない方が聞けば何のこっちゃだが、ジロリアン(二郎ファンの俗称)から言わせてもらえば、言い得て妙である。「そば」「うどん」「ラーメン」「沖縄そば」「盛岡冷麺」「ラーメン二郎」というジャンルに区分してもらいたいくらいだ。二郎の特徴に関して多くは記載しないが(興味がある方はラーメン二郎湘南藤沢店へ♡)とにかくすごいインパクトがあるのだ。そんなこんなで、うぶな大学 1 年生の私はすっかり「二郎」の虜になった。大学時代は二郎と共にあったと言っても過言ではない。辛い時も楽しい時も私のそばには常に二郎があり、私を支え続けてくれた。大学であまり面識がない学部の知人でも、二郎が好きというだけで、ぐっと距離が近づいた記憶がある。遠く離れた場所で同郷の者に出会ったという感覚に似ているのではないだろうか。今も大学の友人達とは「青春=二郎」というバックボーンを持つことが出来ているので、久しぶりに再会しても二郎というワードを出すだけで 15 年前にタイムスリップすることが出来る。

そんな二郎塗れの大学生活を経て、現在も職場において二郎は私を助けてくれている。職場内で二郎を好きになってくれた職員の方々と共通の趣味(二郎を食べに行く、二郎のことを語る)が出来て、何気ない会話の中でも、「先日二郎食べに行ったよ」と言われるだけで会話が 3 倍弾む。コミュニケーションの基本は何かを共有することであるとどこかで聞いたことがあるが、二郎というワードが職場内で共通の会話のツールとして使われ、職員関係が円滑になっているという事実がある。また私的な話になるが、妻のお兄さんと初めて出会った際、緊張で上手く喋れなかった私が勇気を振り絞って「ラーメンって好きですか？」と聞いてみたところ「好きだよ」との返答。もう一度勇気を出して「ラーメン二郎って知ってますか？」と聞くと「昔、何回か行ったことあるよ。美味しいよね」とまさかの返答。その後、義兄との距離がぐっと近づいたことは言うまでもない。

何か本気で好きな物は誰かに教えたい。それがその人にも好きになってもらえたら最高である。そんな想いで現在も、職場の職員さんや子ども達と二郎というツールを使って会話に華を咲かせ、後々「二郎」が今いる場においても我々のバックボーンにまで成り得ればこの上ない幸せである。

二郎の社訓にこのような言葉がある。

「Love & Peace & Togetherness」

これからもこのような気持ちを胸に抱き、子ども達と前を向いて少しづつでもいいから歩いていきたいと思っている。





4月から働かせて頂いている秦野恵未です。職員となり早1年が経とうとしていますが、まだまだ出来ない事だらけで先輩職員さんの背中を見ながら日々奮闘中です。そんな私の中で、今流行っていることは、スノーボードです。休みを使ってよく滑りに出かけています。今年はオリンピックでもスノーボードが注目されていましたが、私も子ども達と一緒にテレビを観ていました。他にも、子ども達と一緒に外で遊んだり、お出かけに行ったり…日々楽しく過ごさせてもらっています。子ども達の可愛い笑顔を元気の源とし、これからも頑張っていきたいと思っています。ドジでどこかぬけているため、子どもから注意されることもしばしばある私ですが、どうぞ宜しくお願いいたします！



ボランティアさんのご紹介

鎌倉児童ホームでは、ボランティアの方々に様々な場面でお世話になり、子ども達の成長と一緒に見守っていただいています。広報誌を通じて、それぞれの素敵なお人柄を紹介していけたらと思っています。今回は、ピアノを教えて下さっている脇田宏子さんをご紹介します。子ども達もピアノが大好きになり、どんどん上達しています♪

(佐々木)

鎌倉で子どもさんたちに、ピアノを教えています、脇田宏子です。早いもので、この教室を始めてから、二年が過ぎようとしています。教室に来る子どもさんは、皆、「自分の希望で始めた」とのこと。「音符も読めず、ピアノの弾き方も分からず0からのスタート」「ある程度引ける子ども」等、様々です。

でも、一貫して言えることは、「音楽、ピアノに興味を持ち、『好きだ』』ということです。

この教室での時間だけ、音楽、ピアノに触れる現状ですが、日々の積み重ねにより少しずつ進歩していく様で、教える側にとっても励みになっています。ピアノを弾くだけでなく、リズム、メロディを歌う、知識を得るためのドリルをする等、楽しく勉強しています。

将来、この経験が皆の心の世界に活かされていくことを願っています。この教室で、もっと多くの子ども達が勉強してほしいと思います。よろしく願いいたします。



レッスン中の脇田さんです



大人になったら覚えていないかもしれないけど、確かに存在した出来事の数々。それが・・・

T H E 日 常

(構成 豊本)

サッカーが大流行しています!

鎌倉児童ホームの主な潤滑油の一つはサッカーです。

サッカー観戦招待により、興味を持った幼稚園児も含め、夕方にはグラウンドで毎日のようにサッカーを楽しんでいます。最近では、施設内交流に留まらず、鎌倉ロータリークラブの皆様や他施設とも交流が深まっています。

そして、鎌倉児童ホームと卒園生とを結びつける大切なツールでもあります。昨年は卒園生が職場の方々をお誘いしての交流もありました。

高校生男子を送り出す機会の多い、川島のコメントを紹介させていただきます。

卒園生が照れくさそうに電話をくれた際に「今日、ちょっとそっち行っていい?」との声。何気ない電話からも社会に出た卒園生の心の葛藤が伝わってくるようです。そんな時「いいよ、また夕方一緒にサッカーしようよ」と声をかけると、「え～最近運動してないからな～」と言いつつ、嬉しいように「じゃ行くね」と答えてくれます。これらのやりとりが、「鎌木のドアはいつも開いているよ」というメッセージになっている気がします。

ジジ抜き大流行の理由は!

恵の家ではトランプが流行っています。

3才のR君も E君も「ババ抜き」が好きです。

なぜかと言うと、トランプに秘密があります。

恵の家にはトランプが3セットありますが、どのセットにも、(真剣勝負の痕跡なのか)ジョーカーにばかり複数の折り目がついてしまっているので、配札次第では、3才児でも勝利できます。

「ババ抜き」で飽き足らぬ幼稚園生以上の子どもたちには「ジジ抜き」の方が大流行です。



編集後記

前号には様々な反響をいただき、ありがとうございます。皆様からのご意見には「池田の再登場」という形でお答えさせていただきました。

「なぜ、池田か!？」

ここに皆様が鎌倉児童ホームに求めているものが集約されているのではないかと思います。

当ホームでは、「個別ケア」と同時に「子どもたちの自己評価の向上」を重要視しています。

「定員 80 名の大きな施設だからこそ、終結することのできた大勢の職員」が、「担当の子どもたちのみならず、ホームの子どもたちの一人一人」に「職員各々の得意分野を生かしての様々な角度からのケア」をしています。

筆者の幼少期のように「運動は苦手だけれど、食べるのが好き」という子どもにとっては、池田が「おいしいラーメンを食べに連れて行ってくれるばかりでなく、ラーメンの作り方まで教えてくれる」ことは嬉しいと思います。そんな池田に「サッカーもしようよ」と声をかけられたら、「やってみようかなあ～」と挑戦する勇気もわいてくると思います。サッカー後のラーメンは、格別なことでしょう。これらの繰り返しにより、「サッカー」と「自炊」が得意になり、自己評価の向上につながっていくかもしれません。

施設長自身もサッカーやギターなどの特技を生かし、子どもたちの生活に彩りを加えています。

ボランティアの方々からも様々なご協力を得ています。

これらの活動を通じ、「子どもたちの自己評価の向上」「困難を乗り越えて行く力の蓄積」を願っています。

今後も当ホームの活動にご理解、ご協力を得られるような誌面作りに励みます。(豊本)

鎌倉児童ホームコミュニケーション委員会